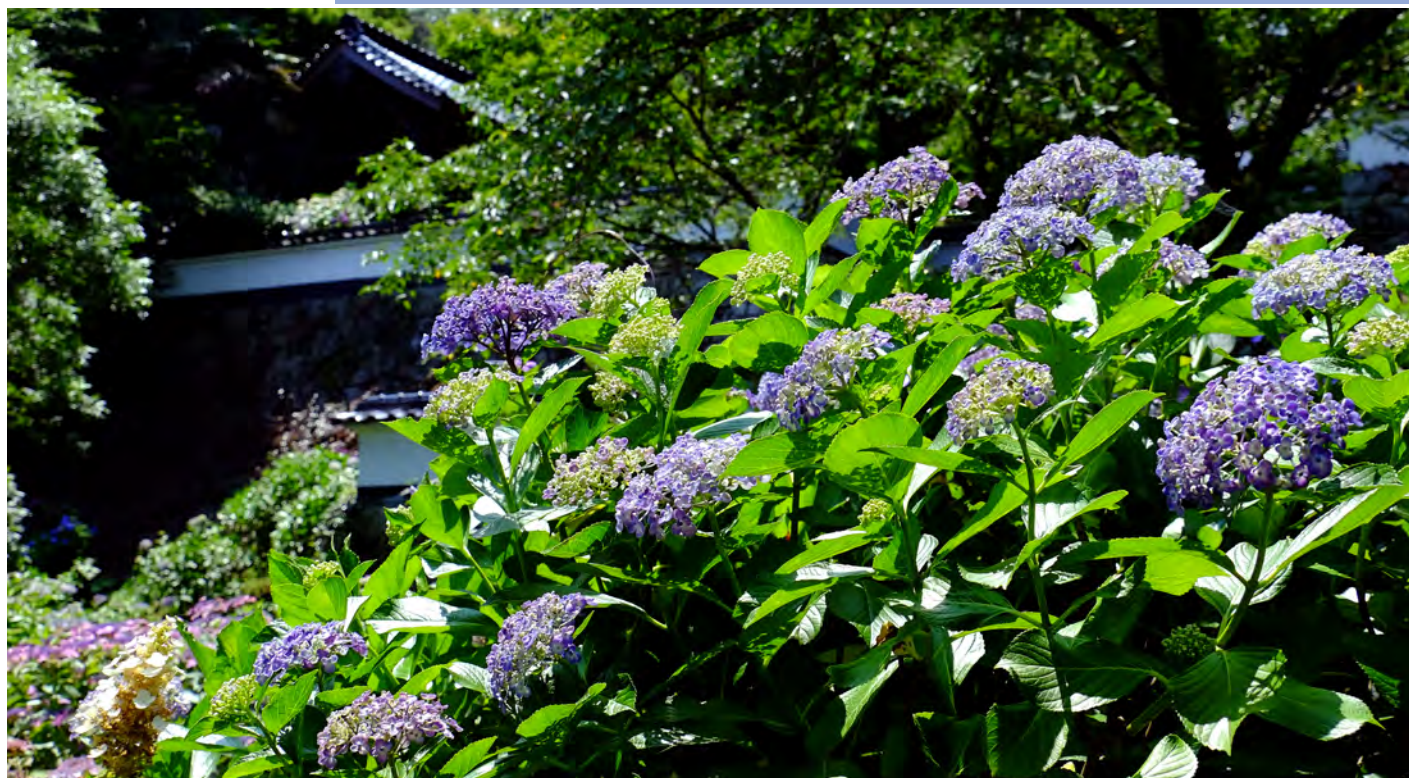




長法寺アジサイ

撮影 徳田名誉院長

CONTENTS

シリーズ 『 乳がん 』

第 4 回 乳腺専門医より

当院では、4 月より常勤医師の採用により乳腺外科を標榜致しました。乳がんの現状、治療について、乳腺専門医よりご紹介致します

News & Topics

あんしん連携カード『結【ゆい】カード』発行状況
第 14 回医療安全取組（QC 活動）宣言大会のご案内

シリーズ 『 乳がん 』

第4回 乳腺専門医より

乳がんは乳腺の細胞内から発生する悪性腫瘍です。症状としては乳房のしこり、乳頭からの血性の分泌、皮膚の陥凹や発赤などがみられます。

日本で乳がんにかかる患者さんの数は増加し続けており平成 28 年に新たに乳がんと診断された患者数は約90,000人と推定されております。乳がんの特徴の1つは診断される患者さんの年齢です。他のがんは年齢とともに増加するものが多いですが、乳がんは30代から増加し40代と50代後半で特に多くなっております。

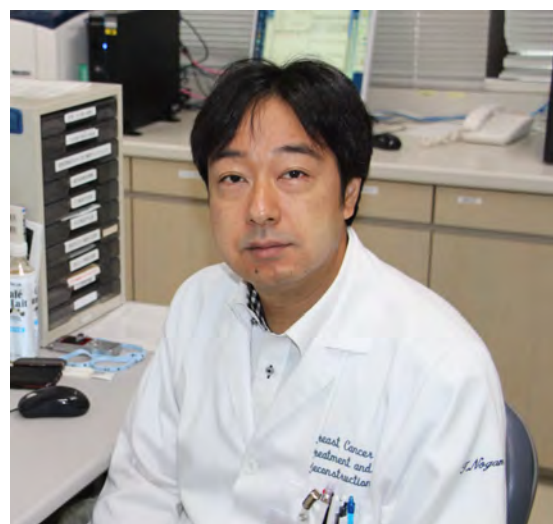
乳がんは、触診、画像診断（マンモグラフィー、超音波検査）で発見され病理検査（細胞診検査、組織診断）で診断を確定します。また乳がんと診断された場合には、治療の方針を決定するために、CT、MRI、骨シンチ、PET-CTなどの検査を用いて乳房内のがんの拡がりや、転移の診断が行われます。

近年では乳がんは全身の病気として治療にあたるようになっており、原発巣の性質や進行度に沿った治療計画を立てます。治療には局所の治療と全身の治療があります。局所の治療としては手術と放射線の照射があります。病変の部位や大きさによって手術の選択肢も変わります。患側の乳腺を残す部分切除と全摘があります。患者さんの希望も取り入れながらも治療効果を落とさないことが重要となります。放射線療法は乳房部分切除では残った乳腺組織に照射することで再発を抑制します。乳房全摘した場合でも腋窩のリンパ節に転移があった場合には術後に放射線療法が必要になることもあります。また乳房の喪失が女性のQOLに大きく関与することもあり、乳房の再建も考慮すべきであります。

全身療法としてはホルモン療法、抗がん剤療法、分子標的薬治療があり、腫瘍の性質やその拡がりに合わせた薬剤の選択が必要となります。これらの薬剤には特有の副作用などがあり、適切なマネジメントやケアを要するため多職種による関与が重要であります。

乳がんは手術をして治療が終了する疾患ではないため出来る限り自宅に近い病院での治療が望ましいと考えます。

末筆ながら、本年4月より津山中央病院外科に乳腺甲状腺疾患の担当として赴任させていただきました野上 智弘と申します。当院では各分野の専門家が充実しており、適切な乳がん治療ができる環境にあります。乳がん患者さんが更に安心して治療を受けられる環境造りの一助になれるよう精進していく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます



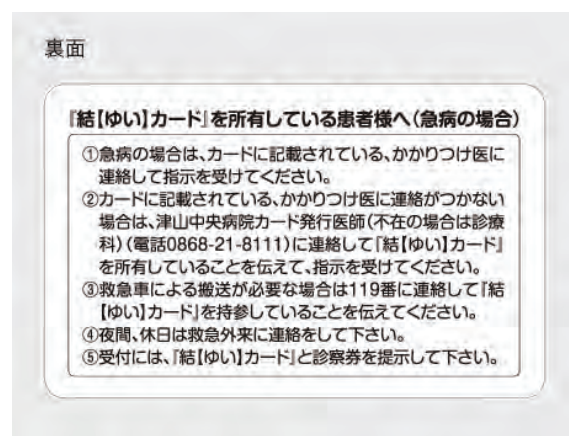
外科部長（乳腺・甲状腺）
日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺専門医

野上 智弘

あんしん連携カード『結【ゆい】カード』発行状況

当院にて、医療機関の機能分化・強化と連携づくりを目的に平成 29 年 4 月 1 日より発行を開始しました、あんしん連携カード『結【ゆい】カード』の発行状況を申し上げます。5 月 31 日現在、10 枚のカードを発行致しました。実際にご利用頂いた感想などは今後ご報告させて頂ければと存じます。

当院では、地域医療支援病院として積極的な逆紹介を推進して参りますので、連携登録医の先生方におかれましては、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



あんしん連携カード『結【ゆい】カード』についてのお問い合わせは、
当院地域連携室 安藤もしくは高橋 Tel0868-21-8111(代)までご連絡下さい。

「第 14 回医療安全取組（QC 活動）宣言大会」のご案内

当院では毎年、医療安全推進の一環として「医療安全取り組み（QC 活動）」を行っています。これは、各部署が独自に、また複数部署が協同して業務改善に取り組むことにより、自施設の医療の質の向上を目指しています。14 回目を迎えます今年度は、昨年同様“他施設からも取り組みに参加（発表）していただく”ことと、院内向けには“委員会が指定したテーマ（せん妄に関すること）に取り組む”ことを企画致しました。

また、今年度は例年通り短期間で取り組むものと、短期間では結果を出せないため長期間で取り組むものも募集しています。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。なお、ご参加いただいた方には研修会参加証を発行（後日郵送）させていただきます。

○日時：平成 29 年 6 月 27 日（火）18 時～19 時 30 分

○場所：慈風会記念ホール

◆お問い合わせは、津山中央病院 医療安全管理室 池上

Tel 0868-21-8111（代）までお願い致します。

外来診療担当医の変更について

津山中央病院 小児科、外科、皮膚科、麻酔科に変更がありました。別紙、外来診療担当医表にてご確認ください。ホームページ (<http://www.tch.or.jp>) でもご覧いただけます。

研究会、教室のご案内

■津山中央記念病院 糖尿病教室

日時／毎週火・水曜日 13:30～(30～60分程度)

場所／津山中央記念病院 2階会議室

■津山中央病院 糖尿病教室

日時／毎週月曜日 13:00～14:00

場所／津山中央健康管理センター 3階
A会議室

■美作地区胸腹部画像診断研究会

日時／通常毎月第4金曜日 19:00～(8・12月を除く)

場所／津山中央病院 医療研修センター 2階講義室



CCセミナー（地域連携セミナー）のご案内

当院では、地域連携セミナーとして、CCセミナーを開催しています。
地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

6月

日時／平成29年6月13日(火) 18:00～19:30 医療研修センター2F 講義室

内容／『熱傷・外傷治療の現状』

講師／津山中央病院 形成外科 藤原 一人 医師

日時／平成29年6月27日(火) 18:00～19:30 記念ホール

内容／『第14回医療安全取組(QC活動)宣言大会』

7月

日時／平成29年7月13日(木) 19:15～ 記念ホール

内容／『下肢深部静脈血栓症の診断と最新の治療』

講師／鳥取大学医学部 器官再生外科学 准教授 中村 嘉伸 先生

日時／平成29年7月27日(木)

記念ホール

内容／『鎮痛薬長期処方時の注意点(仮)』

講師／松山赤十字病院 腎臓内科部長 上村 太郎 先生

私たち津山慈風会は、
地域の皆さんに
やさしく寄り添います

津山中央病院 地域連携室
〒708-0841 津山市川崎 1756
TEL 0868-21-8111 FAX 0868-21-8201
メール tcmn@tch.or.jp
HP <http://www.tch.or.jp>